

令和7年度 体育科 授業改善推進プラン

大田区立調布大塚小学校

Ⅰ 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・器械運動系では、スモールステップで取り組み、小さな成長を認めていくことで、運動に対する意欲が高まった。意識調査では95%の児童が「体育は楽しい」と肯定的な思いをもち、取り組んでいる。
- ・ICTを活用することで、自分に合った目標を立てることができたり、よい動きや技のイメージをもって取り組んだりすることができている。

(2) 課題

- ・学級学年の中で運動経験の差に開きがあり、実力差に応じた場の工夫の余地がある。
- ・運動の特性によつての得意不得意があり、体つくりの運動を中心に、様々な動きをバランス取り組ませる。

2 授業改善のポイント(観点別)

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・走る、跳ぶ、投げる、転がる、のぼる、ぶら下がる、バランスをとる、用具を操作する等の運動を、年間を通してバランスよく経験できるようにする。 ・児童のよい動きを見つけ全体に広げたり、動きのポイントを伝えたりしながら学習を進め、よい動きを意識して使いながら運動遊びに取り組むことができるようにする。	・様々な技能に合わせた目標や場を設定し、児童が自分に合った課題をもち、自ら場や技を選べるようにする。 ・ペアやグループの活動を設定し、自分の工夫や考えを伝えたり、友達のよさや課題に対してアドバイスしたりしながら運動できるようにする。	・安全に運動に取り組めるようにするために、器具の安全な扱い方を指導する。学年に応じたルールを工夫したり、決まりを徹底して守らせたりする。 ・スモールステップで個に応じた目標を設定し、運動する楽しさを味わえるようにする。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・基本となる動きから発展的な動きまで提示し、自分の技能に合った運動のめあてを立てやすくする。 ・1つの技や動きを細分化し、個の技能に応じて、スモールステップで目標を立て、技能を習得していけるようにする。	・チームで取り組むゲーム運動や教え合う活動を積極的に取り入れ、作戦を話し合ったり、動きのポイントを教え合ったりしながら学習を進められるようにする。実態に応じて、いくつかの作戦を提示し、自分たちに合った作戦を選択できるようにする。 ・学習用タブレットを活用し、手	・安全に運動に取り組めるようにするために、学年に応じたルールを工夫したり、決まりを徹底して守らせたりする。 ・スモールステップで個に応じた目標を設定し、運動する楽しさを味わえるようにする。 ・習得したい技能に応じて、各自でめあてをもたせたり、チームで相談してめあてを設定させ

	本となる動きと比べながら、お互いの技を見合ったり、アドバイスしたりする場を設定する。 ・学習カードを活用して、めあてに沿った振り返りをし、自分の学習の様子や次時の取組を考えられるようにする。	たりして、仲間と共に意欲的に、粘り強く運動に取り組めるようにする。
--	---	--

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・学年の技能到達目標を明確にし、運動のめあてを立てやすくするとともに、教師が個のめあてを把握した上で、適切な言葉掛けや補助を行っていく。 ・運動の特性に応じた技能のポイントを明確にすることで自分の課題に合った場で活動したり、互いに教え合ったりすることができるようにする。 ・1つの技や動きを細分化し、個の技能に応じて、スモールステップで目標を立て、技能を習得していけるようにする。	・様々な課題に応じた練習の場を設定し、自分に合った練習ができるように環境を整える。 ・学習用タブレットを活用し、お互いの技を見合ったりよい動きを共有したりする教え合いの場を設定する。 ・一人一人が練習方法を工夫したり、チームで作戦を考えたりできるように、学習カードや授業の流れを工夫する。	・安全に運動に取り組めるようにするために、学年に応じたルールを工夫したり、決まりを徹底して守らせたりする。 ・スモールステップで個に応じた目標を設定し、運動する楽しさを味わえるようにする。 ・作戦会議や教え合う活動では、自分の考えを発信するだけでなく、相手の意見を認める気持ちを育て、ともに粘り強く技能向上を目指せるような態度を育てる。